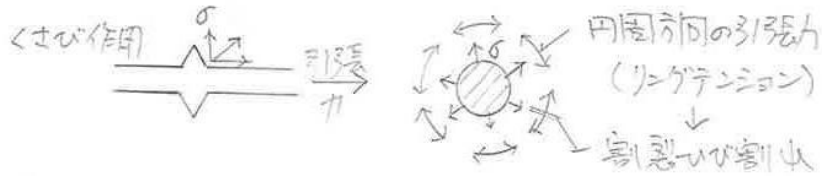


平成29年 No.13 鉄筋コンクリート構造の付着

1. 主筋間のあきと付着割裂強度 → あきが大きくなると付着割裂強度は大きくなる
2. 鉄筋径と付着割裂破壊 → 太径の鉄筋は細径と比べて、生じる応力が大きいため、付着割裂破壊しやすくなる
3. 帯筋、あばら筋及び中子筋と付着割裂強度 → 付着割裂強度の算定に考慮できる
4. 設計用付着応力 → 部材端部にせん断ひび割れが生じる部材は、端部から断面の有効せり d を除いたうえで算定する

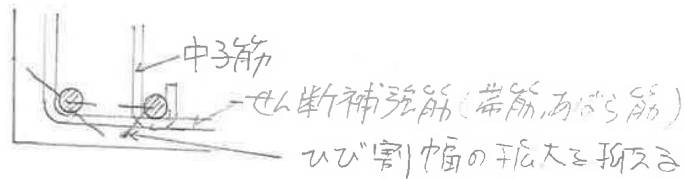
① 主筋間のあきと付着割裂強度

異形鉄筋のフシガ周辺のコンクリートを押し広げる
ことによりコンクリート表面に生じる破壊

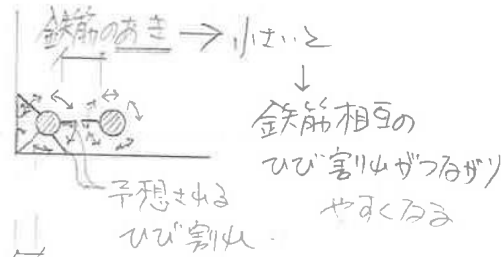


② 帯筋、あばら筋及び中子筋と付着強度

→ 割裂ひび割れの発生を防ぐことはできない。
ひび割れ幅の拡大を抑え付着強度を高める効果がある



③ 鉄筋径と付着割裂破壊



太い鉄筋は
鉄筋に生じる応力が大きくなる
↓
付着割裂破壊が生じやすい

鉄筋(太径) → あき → ひび割れが
表面に達しやすくなる

④ 設計用付着応力 → 鉄筋の全付着長に対する平均の付着応力

